

令和3年度（R2年度対象）

三豊市教育委員会 点検・評価報告書

令和3年8月

三豊市教育委員会

目 次

1 はじめに	1
2 教育委員会活動の状況	1
(1) 教育委員会議の開催状況	1
(2) 教育委員会議の審議状況	1
(3) 教育委員会活動の概要	7
(4) 教育委員会に関わるその他の主な活動	9
3 具体的な推進施策の取組状況評価	10
(1) 点検・評価の対象	10
(2) 点検・評価の方法	11
(3) 点検・評価員会開催日及び協議事項	11
(4) 点検・評価結果の構成	12
(5) 点検・評価結果の年度比較	12
(6) 総合評価	13
(7) 点検・評価結果	15
① 乳幼児期の教育方針	15
② 小学校の教育方針	17
③ 中学校の教育方針	20
④ 人権教育の推進	23
⑤ 学校等施設整備の推進	26
⑥ 学校再編整備の推進	27
⑦ 生涯学習の方針	28
⑧ 青少年の健全育成	36
⑨ スポーツ振興の方針	40
⑩ 学校給食の方針	42
資 料	
1 教育委員会委員及び組織	43
2 公立学校施設の概要	44

1 はじめに

三豊市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度の教育委員会活動を振り返り、また、本市教育委員会が毎年度示している「三豊市の教育方針」に基づく、具体的な推進施策の取組状況の点検・評価を行いました。

この報告書は、令和2年度の教育委員会活動及び具体的な推進施策の取組状況の点検・評価について記したものです。

2 教育委員会活動の状況

(1) 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、定例会は毎月1回開催、臨時会は必要に応じて開催。令和2年度は合計17回開催しました。

- | | | |
|-------|-------|------|
| ① 定例会 | | 12 回 |
| ② 臨時会 | | 5 回 |

(2) 教育委員会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「三豊市教育長に対する事務委任等規則」の規定に基づき、令和2年度は合計で 60 件について審議しました。

- | | |
|---|------|
| ① 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員（県費負担教職員を除く。）の任免その他の進退を行うこと..... | 1 件 |
| ② 県費負担教職員の任免その他の進退について内申を行うこと..... | 2 件 |
| ③ 教育委員会規則の制定、及び改廃すること..... | 14 件 |
| ④ 教育委員会の所管に属する各機関及び委員会の委員の任免又は委嘱若しくは解職に関すること..... | 12 件 |
| ⑤ 就学援助費の認定及び奨学生選考等に関すること..... | 13 件 |
| ⑥ 財産の取得・処分について..... | 0 件 |
| ⑦ その他..... | 18 件 |

○令和2年度 教育委員会審議案件等一覧

開催日時	議案番号	協 議 事 項
R2.4.9(木) (臨時会)	議案第1号	新型コロナウイルス感染拡大予防のための学校一斉臨時休業について
R2.4.21(火) (臨時会)	議案第1号	新型コロナウイルス感染拡大予防のための学校一斉臨時休業について
R2.4.28(火) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	令和2年度学校評議員、学校運営協議会委員の認定について
	議案第3号	紫雲出山遺跡の保存活用計画策定について
	議案第4号	三豊市図書館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
	議案第5号	三豊市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について
	議案第6号	三豊市・洞爺湖町友好都市少年交流事業「ふるさとふれあいフレンドリーツアー」の中止について
	議案第7号	三豊市文化芸術振興計画審議会委員の選任について
	議案第8号	三豊市図書館協議会委員の選任について
	議案第9号	三豊市生涯学習推進計画策定委員の選任について
R2.5.7(木) (臨時会)	議案第1号	新型コロナウイルス感染拡大予防のための学校一斉臨時休業について
R2.5.25(月) (定例会)	議案第1号	公民館分館主事の任命について分館主事の任命について
	議案第2号	三豊市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
R2.6.19(金) (定例会)	議案第1号	三豊市衛生管理改善事業補助金交付要綱の制定について
	議案第2号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第3号	社会教育委員の委嘱について
	議案第4号	公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第5号	三豊市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
R2.7.21(火) (定例会)	議案第1号	三豊市図書館の臨時休館について
	議案第2号	三豊市立学校条例の一部改正について
	議案第3号	三豊市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について
	議案第4号	三豊市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正について
	議案第5号	三豊市公民館条例の一部改正について
R2.8.6(木) (臨時会)	議案第1号	令和3年度使用 中学校教科書採択について
R2.8.24(月) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	公民館分館長の任命について
	議案第3号	令和2年度三豊市教育委員会点検・評価報告書(案)について
R2.9.24(木) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	令和3年度保育所・幼稚園管理職候補者選考試験について
	議案第3号	文化財の指定について(古文書)

開催日時	議案番号	協 議 事 項
R2.11.18(水) (定例会)	議案第1号	三豊市幼保連携型認定こども園条例の制定に伴う関係教育委員会条例の廃止及び一部改正について
	議案第2号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第3号	三豊市文化会館条例施行規則の一部改正について
R2.12.24(木) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
R3.1.28(木) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	三豊市三野町文化センター条例を廃止する条例について
R3.2.22(月) (定例会)	議案第1号	三豊市幼保連携型認定こども園条例の制定に伴う関係教育委員会規則等の廃止及び一部改正について
	議案第2号	三豊市における公立中学校夜間学級の在り方検討委員会設置要綱の制定について
	議案第3号	三豊市立小中学校(園)災害共済給付に係る共済掛金の保護者負担額を定める規則の制定について
	議案第4号	三豊市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部改正について
	議案第5号	三豊市中学生海外派遣研修事業補助金交付要綱の制定について
	議案第6号	三豊市立小学校・中学校の通学区域及び学校の指定に関する規則の一部改正について
	議案第7号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第8号	令和3年度準要保護児童(小学校入学前)の認定について
	議案第9号	三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会設置条例の制定について
R3.3.5(金) (臨時会)	議案第1号	三豊市における公立夜間中学級の在り方検討委員会会議規程の制定について
	議案第2号	小・中学校人事異動について
	議案第3号	幼稚園等の人事異動について
R3.3.23(火) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第3号	三豊市人権教育指導員設置規則の一部改正について
	議案第4号	令和3年度 人権教育指導員の任命について
	議案第5号	成年年齢引下げ後の三豊市成人式の在り方について
	議案第6号	公民館長・主事及び分館長・分館主事の任命について
	議案第7号	三豊市図書館協議会委員の委嘱について
	議案第8号	三豊市詫間町民俗資料館条例施行規則及び三豊市詫間町考古館条例施行規則の一部改正について
	議案第9号	三豊市詫間町民俗資料館・三豊市詫間町考古館及び三豊市宗吉かわらの里展示館運営協議会委員の任命について
	議案第10号	三豊市文化財保護審議会への諮問について (有形文化財(絵画)宗教法人勝楽寺)
	議案第11号	三豊市奨学金貸付条例施行規則の一部改正について
	議案第12号	三豊市奨学金貸付申請等について
	議案第13号	教育委員会規則等の一部改正について ①三豊市教育委員会の事務局の組織に関する規則 ②三豊市教育委員会職務権限規程

○令和2年度 教育委員会報告等一覧

開催日時	報告番号	報 告 事 項
R2.4.28(火) (定例会)	報告事項1	令和2年第1回三豊市議会定例会について
	報告事項2	新型コロナウイルス感染症対策について
	報告事項3	学校給食関係事業者を対象とした緊急対応事業の実施について
	報告事項4	令和2年度学力調査について
	報告事項5	令和2年度学校訪問について
	報告事項6	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項7	公民館分館長・主事の任命について
	報告事項8	令和元年度少年育成センターの活動報告について
	報告事項9	令和2年度の主な事業計画について
	報告事項10	学校再編整備について(豊中地区説明会の報告)
	報告事項11	三豊市教育方針について
R2.5.25(月) (定例会)	報告事項1	新型コロナウイルス感染症対策について
	報告事項2	学校給食関係事業者を対象とした緊急対応事業の実施状況について
	報告事項3	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項4	遠隔教育について
	報告事項5	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項6	総合体育館の改修工事に係る基本設計の着手について
	報告事項7	緑ヶ丘総合運動公園指定管理について
	報告事項8	三豊市文化芸術振興計画審議会委員の選任及びスケジュールについて
	報告事項9	みとよこども図書館の開館について
	報告事項10	GIGAスクール構想について
R2.6.19(金) (定例会)	報告事項1	新型コロナウイルス感染症対策について
	報告事項2	令和2年第2回三豊市議会定例会について
	報告事項3	長期休業日の幼稚園預かり保育における給食提供について
	報告事項4	三豊市立詫間中学校給食調理場休憩室増築工事について
	報告事項5	学校給食における賞味期限切れの食材使用について
	報告事項6	三豊市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	報告事項7	生徒指導・職員事故等の報告について・職員事故等の報告について
	報告事項8	教科書採択について
	報告事項9	海外派遣事業について
	報告事項10	公民館活動について ・7月の各地区公民館活動予定 ・今後の公民館活動の方針について
	報告事項11	財産の取得について(三豊市学校ICT機器 電子黒板・プリンター等)
	報告事項12	三豊市緑ヶ丘サッカー場供用開始について

開催日時	報告番号	報 告 事 項
R2.7.21(火) (定例会)	報告事項1	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項2	学校訪問の日程について
	報告事項3	運動会の日程について
	報告事項4	「桃田賢斗選手」香川県後援会設立総会について
	報告事項5	財田B&G臨時職員の逮捕について
	報告事項6	緑ヶ丘サッカー場器物破損被疑者の逮捕について
	報告事項7	図書館システム更新に伴うプロポーザル審査結果について
	報告事項8	公民館の活動について
R2.8.24(月) (定例会)	報告事項1	新型コロナウイルス感染症対策について
	報告事項2	北部給食センター整備における検討状況について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	宝山湖公園芝生広場の整備について
	報告事項5	第1回三豊市生涯学習推進計画策定委員会開催結果について
	報告事項6	第1回三豊市遺跡発掘調査整備委員会(紫雲出山遺跡保存活用計画策定)開催結果について
	報告事項7	公民館活動について ・9月の各地区公民館活動予定 ・7月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項8	プロポーザルの実施について
	報告事項9	備品購入及び工事に係る入札結果について
R2.9.24(木) (定例会)	報告事項1	「映画制作スクール」の実施について
	報告事項2	三豊市B&G海洋センタープールの利用実績について
	報告事項3	文化財保護審議会委員の任命について
	報告事項4	図書館開館時間園長の実施報告について
	報告事項5	みとよロボコン2020開催報告について
	報告事項6	公民館活動について ・10月の各地区公民館活動予定 ・8月に行われた代表的な取組事業紹介
R2.10.30(金) (定例会)	報告事項1	令和2年第3回三豊市議会定例会について
	報告事項2	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	夜間中学の取り組みについて
	報告事項5	緑ヶ丘総合運動公園の指定管理者奥穂者の選定結果について
	報告事項6	第2回三豊市生涯学習推進計画策定委員会開催結果について
	報告事項7	令和3年成人式について
	報告事項8	第1回三豊市文化芸術振興計画策定委員会開催結果について
	報告事項9	公民館活動について ・11月の各地区公民館活動予定 ・9月に行われた代表的な取組事業紹介
R2.11.18(水) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	公民館活動について ・12月の各地区公民館活動予定 ・10月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項3	学校再編整備について
	報告事項4	学校ホームページ／学校情報配信システム導入・運用業務について

開催日時	報告番号	報 告 事 項
R2.12.24(木) (定例会)	報告事項1	令和2年第4回三豊市議会定例会について
	報告事項2	令和2年度 学校訪問を終えて
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	令和3年4月公立学校職員人事異動基本方針について
	報告事項5	第3回三豊市生涯学習推進計画策定委員会開催結果について
	報告事項6	第2回三豊市文化芸術振興計画審議会開催結果につい
	報告事項7	令和3年三豊市成人式について
	報告事項8	公民館活動について ・1月の各地区公民館活動予定 ・11月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項9	三豊市学校情報セキュリティについて
R3.1.28(木) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	香川県学習状況調査の結果について
	報告事項3	夜間中学について
	報告事項4	令和3年成人式について
	報告事項5	公民館活動について ・2月の各地区公民館活動予定 ・12月に行われた代表的な取組事業紹介
R3.2.22(月) (定例会)	報告事項1	仁尾町学校給食センターにおける保存食採取の一部未実施及び残った食材の不適切な取り扱いについて
	報告事項2	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項3	令和2年度卒業式・令和3年度入学式について
	報告事項4	「夢の教室」オンラインについて
	報告事項5	第3期三豊市生涯学習推進計画について
	報告事項6	第3回三豊市文化芸術振興計画審議会開催結果について
	報告事項7	公民館活動について ・3月の各地区公民館活動予定 ・1月に行われた代表的な取組事業紹介
R3.3.23(火) (定例会)	報告事項1	三豊市教育方針について
	報告事項2	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項3	学習の診断について
	報告事項4	教育センターの活動報告について
	報告事項5	第2回三豊市図書館協議会の協議結果について
	報告事項6	第2回三豊市遺跡発掘調査整備委員会(紫雲出山遺跡保存活用計画)の開催結果について
	報告事項7	公民館活動について ・4月の各地区公民館活動予定 ・2月に行われた代表的な取組事業紹介

(3) 教育委員会活動の概要

① 保育所・幼稚園・小学校・中学校指導訪問

実施日程	令和2年6月4日 ～ 令和2年11月25日		
参 加 者	教育長、教育委員4名、主任指導主事3名、事務局4名 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6～8月は教育委員不参加)		
訪 問 先	保育所5所、幼稚園7園、小学校19校、中学校6校		
訪問内容	・学校・幼稚園・保育所経営説明 ・給食指導 ・全体指導 ・講 評 ・保育・授業参観 ・個別指導 ・諸帳簿検査		

学校指導訪問日程(学校の生徒数・クラス数・教員数に応じて、1日及び半日を決めています)

月	日	曜日	学校名	日程	教育委員	指導主事・事務局
6	4	木	二ノ宮小学校	午前		指導主事1名、事務局1名
	5	金	三野津中学校	午前		主任指導主事1名、事務局1名
	9	火	曾保幼稚園	午前		主任指導主事1名、事務局2名
	15	月	仁尾中学校	午前		主任指導主事1名、事務局1名
	17	水	大見小学校	午前		指導主事1名、事務局1名
			松崎小学校	午後		指導主事1名、事務局1名
	18	木	山本小学校	午前		指導主事1名、事務局1名
	19	金	上高瀬幼稚園	午前		主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課1名)
	22	月	本山小学校	午前		指導主事1名、事務局1名
			笠田小学校	午後		指導主事1名、事務局1名
	26	金	平石幼稚園	午前		主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課1名)
	30	火	勝間小学校	午前		指導主事1名、事務局1名
			比地小学校	午後		指導主事1名、事務局1名
7	7	火	三野保育所	午前		(保育幼稚園課4名)
	10	金	豊中幼稚園	午前		主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課2名)
8	7	金	松崎保育所	午前		主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)
	21	金	高瀬南部保育所	午前		保育幼稚園課4名

月	日	曜日	学校名	日程	教育委員	指導主事・事務局
9	9	水	麻小学校	午後	松田委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	11	火	上高瀬小学校	一日	松田委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	14	月	詫間中学校	一日	細川委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	15	火	上高野小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	16	水	桑山小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
			比地大小学校	午前	細川委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	17	木	仁尾小学校	一日	堤委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	28	月	財田小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	29	火	大見幼稚園	午前	細川委員	主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課1名)
10	2	金	仁尾保育所	午前	堤委員	(保育幼稚園課4名)
			吉津小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	5	月	下高瀬小学校	午前	細川委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	9	金	松崎幼稚園	午前	山崎委員	主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課1名)
	12	月	曾保小学校	午後	堤委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	14	水	高瀬中学校	一日	松田委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	16	金	麻幼稚園	午前	松田委員	主任指導主事1名、事務局2名 (保育幼稚園課1名)
	23	金	詫間保育所	午前	山崎委員	(保育幼稚園課4名)
11	4	水	詫間小学校	一日	堤委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	9	月	豊中中学校	午前	堤委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名
	25	水	和光中学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、指導主事1名 事務局3名

(4)教育委員会に関わるその他の主な活動

三豊市総合教育会議

<第1回> 山本小学校

実施日程 令和3年2月16日(火) 午後1時30分～午後4時00分

参 加 者 市長、教育長、教育委員4名

政策部 部長、地域戦略課 2名

教育委員会 部長、教育総務課 課長、学校教育課 課長他1名

山本小学校 校長、教諭

協議内容 ○ GIGAスクール構想における学びについて

②教育委員が出席した主な活動等

月	各種行事・大会等	
	三豊市関係	国・県関係
4	幼稚園入園式、小・中学校入学式	
5	三観地区市教委連絡協議会春季総会	
7		市町教育行政意見交換会
10		香川縣市町教育委員会連絡協議会研究集会
11	映画制作スクール完成披露試写会	
1	三観地区市教育委員会連絡協議会総会	
2	三豊市公民館研究集会	
3	小・中学校卒業式	

3 具体的な推進施策の取組状況評価

(1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本市教育の総合的な指針である「三豊市教育方針」に基づく令和2年度の重点課題の項目としています。

○ 評価項目の一覧

1	乳幼児期の教育方針
	① 保育・教育の充実
	② 子育て支援の充実
	③ 子どもの成長を支える連携
2・3	小学校・中学校の教育方針
	① 確かな学力の向上
	② 豊かな心の育成
	③ 健やかな体の育成
	④ 社会の変化に対応する力の育成
4	人権教育の推進
	① 学校人権教育の推進
	② 社会人権教育の推進
5	学校等施設整備の推進
	① 子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設整備
6	学校再編整備の推進
	① 適正規模・適正配置の基本的考え方に基づく再編整備
7	生涯学習の方針
	① 生涯学習推進の環境づくり
	② 家庭教育力の向上
	③ 文化・芸術活動の促進
	④ 文化財の保護・継承
	⑤ 学習成果を地域に還元する仕組み
8	青少年の健全育成
	① 青少年教育の充実
9	スポーツ振興の方針
	① スポーツの振興
	② スポーツ施設の充実
	③ アスリートの育成支援
10	学校給食の方針
	① 三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食

(2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、まず主管課において、重点課題に対して実施した事業ごとに点検・評価を行い、それを受けて教育委員会は、各主管課の評価をもとに重点課題の項目ごとに総合的に評価を行いました。

また点検・評価にあたっては、教育に関して学識経験等を有する方の協力を得て、点検・評価委員会を開催し、多くの意見や助言を得ました。

助言等をいただいた方は、次のとおりです。

(敬称略)

氏 名	所 属
岡田 知也	香川大学教育学部教授・元副学部長
小林 千芳	元学校長
田井 秀典	元学校長
小野 寿子	主任児童委員代表
宮崎 奈緒	三豊市PTA連絡協議会代表(令和2年度)

(3) 点検・評価委員会開催日及び協議事項

開催日	作成者(報告)	協議事項
第 1 回 R3.2.10 (木) (書面開催)	点検・評価員 教育長・教育部長 教育委員会事務局 関係各課長ほか	・ 教育委員会の事務事業の点検・評価の概要について ・ 令和2年度三豊市教育方針について説明 ・ 令和3年度三豊市教育委員会点検・評価のスケジュールについて
第 2 回 R3.5.28 (金) (書面開催)		・ 令和3年度三豊市教育委員会点検・評価表について ・ 令和3年度三豊市教育委員会点検・評価報告書(案)について ・ 令和3年度三豊市教育方針について
第 3 回 R3.7.20 (火) (書面開催)		・ 令和3年度三豊市教育委員会点検・評価報告書(案)について

(4) 点検・評価結果の構成

① 評価対象

「令和2年度三豊市教育方針」の8つの重点課題の項目ごとに点検・評価を行っています。

② 具体的な取組内容及び実施した事業内容

各重点課題の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容等を示しています。

③ ◎○得られた成果 ●課題と今後の取組

事業を実施したことによって得られた成果及び課題等を示しています。

※ ◎特に成果があった項目

④ 内部評価

計画目標に対し、取組の進捗状況等を踏まえ、外部の方々からの意見を参考にしながら、客観的にS～Dの5段階評価を行っています。

(評価判断基準)

S …… 十分な成果を得た

A …… ほぼ成果を得た

B …… ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要

C …… 満足のいく成果が得られず、事業の見直しが必要

D …… 中止、廃止

⑤ 担当課

事業を実施した担当課の名称を示しています。

(5) 点検・評価結果の年度比較

	3年度		2年度		元年度		30年度		29年度		28年度	
	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)
S(A)	0	0	0	△1	1	0	1	0	1	△1	2	2
A(B)	22	△34	56	3	53	△7	60	△2	62	0	62	1
B(C)	20	3	17	1	16	7	9	2	7	△8	15	0
C(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△1	1	1
D(E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価数 合計	42	△31	73	3	70	0	70	0	70	△10	80	4

(6)総合評価

点検・評価委員会の全体評価と項目別評価

総合評価		所 見
(全体評価)		「三豊市教育方針」に基づき、教育委員会の多様な業務内容を42項目にまとめ評価を実施した。結果を見ると、達成状況は「ほぼ成果を得た」ランク(A)が約52%で、昨年度の約77%から減少しているように見られるが、これは点検・評価の項目が73項目から42項目に再構成されたことが関わっており、単純な比較は難しいが、昨年度と同様に概ね良好な結果であるといえる。これは教職員が、同方針に基づき着実に努力を重ねてきた成果であると言える。社会教育関連の項目に「ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要」ランク(B)が多く見られるが、これはコロナ禍の影響により事業の中止や、活動の内容等を試行錯誤したことによるものであろう。今後は、コロナ禍が終息することを見据え、市の教育活動全般をどのように復元させていくのかについて、具体的に検討し取り組んでいただきたい。
項目別評価	① 乳幼児期の教育方針	コロナ禍においても、自然環境を取り入れた体験や様々な遊び等、子どもの発達を促す保育の工夫がなされ、心身の成長につながっている。異校種間連携については、両者で課題を検討し着実に進めていただきたい。メディア利用について、保護者が理解を深める機会を企画することについても検討していただきたい。
	② 小学校の教育方針	確かな学力の向上については、さまざまな指導の工夫・改善が継続的に実践され、確かな成果を挙げている。一方、コロナ禍により、多様な体験活動の場が減少していることが懸念される。プログラミング教育については「MAiZM」や「香川高専託間がある環境を生かし、それらとの連携を模索しさらに推進していただきたい。
	③ 中学校の教育方針	確かな学力の向上については、「主体的・対話的で深い学び」による授業の実践を初め、指導方法の工夫等により基礎・基本の定着につながるなど、着実に成果を挙げている。豊かな心の育成については、自己肯定感の育成、共感的な人間関係づくり、人権尊重という普遍的な理念に基づいた指導が定着し成果を挙げている。タブレット端末を活用するにあたり、情報リテラシーの習得を家庭と連携してさらに推進していただきたい。
	④ 人権教育の推進	学校人権教育は、幼児から児童・生徒までの発達段階に応じた市版教材集(紙芝居・教材集)をもとに10年以上にわたって実践を積み重ね、全ての項目でA評価となるなど成果を上げている。今後も着実な実践を継続していただきたい。社会人権教育については、講演を聴くだけでなく、グループ討議を取り入れるなどの工夫により研修内容が深まっている。さらに、研修対象を広げるなど一層充実した取組を検討していただきたい。
	⑤ 学校等施設整備の推進	施設の維持管理が着実に実践でき安全性が確保されている。トイレの洋式化や校舎外壁の修繕についても計画的に進められている。今後も定期点検を確実に実施し、問題箇所について速やかに対応することで、安全な教育施設を維持していただきたい。
	⑥ 学校再編整備の推進	豊中町の小学校再編について、コロナ禍における対面での検討は難しい状況であると思われるが、保護者、職員、地域の皆さん等の理解を得られるよう取り組んでいただきたい。

総合評価		所 見
（ 項 目 別 評 価 ）	⑦ 生涯学習の方針	コロナ禍においても多岐にわたる事業を着実に実施している。特に各地区公民館で特色ある講座を開設し、市民の生き甲斐を見いだせる学びの機会となっている。図書館については、あらゆる世代に利用しやすい施設とするために閉館時間や学習スペース確保の検討を進めていただきたい。地域に根付いている諸活動がコロナ終息後に再び活性化するように行政の支援をお願いしたい。
	⑧ 青少年の健全育成	少年育成センターの補導、安全・安心パトロール隊や子ども見守り隊等、多くの市民ボランティアの協力により、みんなで三豊市の子どもを見守り育てる活動が伝統的に定着しており、不審者情報件数が減少するなど安全が守られている。活動継続のためにも、隊員の募集を継続的に行い隊員確保に努めていただきたい。問題を持つ子どもの保護者等への支援についても、今後さらに検討していただきたい。
	⑨ スポーツ振興の方針	コロナ禍においても、工夫しながらスポーツイベントの実施を模索していることは評価できる。計画的な施設・設備の整備についても継続的に取り組んでいただきたい。地域クラブチームの育成と支援などの意欲的な事業についても、問題点を改善するとともに継続的に取り組んでいただきたい。
	⑩ 学校給食の方針	地産地消が推進され、国の衛生管理の基準を満たした上で適切に運用され、安全性が確保された給食が提供されている。地産地消については、三豊市産の食材の使用率を向上することに取り組んでいただきたい。既存の施設の改修等により、衛生環境改善が図られていることは評価できる。 北部学校給食センターについては整備内容の検討段階であるが、南部学校給食センターの経験を生かし、よりよい施設となることを期待する。

① 乳幼児期の教育方針

担当課:学校教育課

基本方針	心身ともに健やかに成長するための保育・教育の推進
------	--------------------------

重点課題 1 保育・教育の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	創造する力の育成		
○遊びや生活の中で自分の力でやり遂げる満足感や充実感が味わえるように、感じたり、気付いたり、工夫したりできるような環境づくりに努める。		○日々の記録と週案を見直し、子どもの姿と保育者のかかわりや環境構成をつなげて考えていくことで、子どもの興味・関心に沿った保育の展開ができた。	A
実施した事業の内容		○一つの遊びを繰り返し楽しむことで、子どもたちから様々なアイデアが生まれ、試行錯誤しながら遊びを進めていく姿が見られた。	
・日々の遊びの充実に向けた、子どもの目線に立った環境の見直しと実践。 ・年齢に応じた試行錯誤のできる環境の工夫。		●新しい生活様式の中で、できるだけ制限を減らして、遊びが充実できるように工夫していく。	
(2)	人とのかかわる力の育成		
○子どもたち一人ひとりの思いや考えを丁寧に受け止め、言葉や身体でのびのびと表現したり、相手の話を聞いたりしながら、伝え合う喜びを感じられる支援の工夫をする。		○保育者が声を掛けすぎないようにし、必要な場面では、子どもの思いを丁寧に聞くことで、安心して表現する姿が見られるようになった。	A
実施した事業の内容		○遊びや活動の内容を見直し、工夫することで、子ども同士が積極的にのかかわり、伝え合う喜びを感じる場面が増えてきた。	
・子どもの表現を丁寧に受け止める保育者の姿勢と、子ども同士が思いや考えを伝え合える場づくり。 ・帰りのひとときなど、思いや考えを伝え合える場の工夫。		●場や状況によって、言葉などでの適切な表現ができにくい子どももいるので、いろいろな場をとらえて、一人ひとりに応じた継続的な援助が必要である。	

重点課題 2 子育て支援の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	子育てのための意識づくり		
○メディア利用の改善を図り、保護者が子どもと向き合い、ふれあう大切さを感じることができる取組の推進に努める。		○園での遊ぶ様子を掲示板やお便り等、写真で知らせることで、親子の会話が弾んだり、家庭でも取り入れようとする姿が見られた。 ●メディアとうまく付き合っていかなければならない時代なので、メディアから切り離す啓発ではなく、ふれあい大切さを知らせるようにしていく。 ●気になる子どもやしんどさを抱えている家庭への具体的な支援策について、さらに工夫する。	B
実施した事業の内容			
・子どもや家庭の実態把握と寄り添う支援。 ・基本的生活習慣定着のために、生活チェック表の活用。 ・絵本の読み聞かせの推奨。			

重点課題 3 子どもの成長を支える連携

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	家庭や地域社会との連携		
○地域の人や自然を活かした交流を行う中で、保育所・幼稚園教育への理解を得ながら、地域の中での子育ての支援体制を築く。		○コロナ禍の中、例年とは違う行事のもち方や交流の方法を考えながら、取り組むことで、保護者、地域の方と、子どもをさらに大切に育てていくという共通意識をもつことができた。 ○交流の機会は減ったが、園外への散歩の回数が増えたことで、地域の自然のよさに気付いたり、遊びが広がったりした。 ●地域や保護者の意見を取り入れながら、行事として単発で終わらないように、意識や活動を継続できる工夫をしていく。	A
実施した事業の内容			
・地域とのつながりを感じられる交流活動の工夫。 ・地域の自然や人材を活かした保育活動の実施。			
(2)	異校種間連携		
○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かう一人ひとりの育ちを具体的に捉え、小学校と共有しながら、円滑な移行に向けた連携の工夫をする。		○コロナ禍のため、交流活動は減少、縮小されているが、保育参観や巡回相談等を通じて、子どもに対する共通理解を図ることができた。 ●園が何を大切に育ててきたか、どう引き継いでいきたいかを伝え、互いに疑問や課題を素直に出し合いながら、接続の部分を見直していく必要がある。	B
実施した事業の内容			
・互いの授業や保育参観を通して、学び合ったり連携を深めたりできる研修を実施。			

② 小学校の教育方針

担当課: 学校教育課

基本方針	夢と希望を実現するための知性、感性、創造力を身につける教育の推進
------	----------------------------------

重点課題 1 確かな学力の向上

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	児童主体の授業づくり		
あらゆる教科学習や「対話」・「自問自答」の土台である、基礎的な読解力の向上のための母国語教育の充実を図る。		◎他者の意見を引用しながら発言したり、自分の文章の書き方や内容について吟味したりするなど、表現することへの意識の高まりが見られた。 ○学校図書館との連携により、学習内容に応じた図書資料を活用することができ、児童の読書の幅が広がった。 ●読解力の定着度の評価や個人差に対応した指導方法について研修を推進する必要がある。	A
実施した事業の内容			
・各学年の系統的な読解力の整理。 ・「話す・聞く・読む・書く」の場の設定・重点目標の継続的指導。 ・音読・スピーチや語彙・作文の表現力を高めるドリルタイムの実施。 ・学校図書館経営の充実。			
他者との「対話」や立ち止まりや振り返りの際の「自問自答」が伴う授業展開による深い学びの実現に努める。			
実施した事業の内容		◎児童の意識に沿った学習課題の設定により、課題に対する自分の考えをもって他者との対話に向かうことができた。 ○何を、どのように、どこまで話し合うのかを提示することで、ペアやグループにおける考えを深める話し合いが活発になってきた。 ●深い学びに導くための発問・助言や児童の反応を組織する教師の授業力をさらに向上させていく。	
・子どもの「問い」を生かす学習課題の設定。 ・思考を働かせる学習活動の工夫。 ・話し合いや振り返りの視点の提示。 ・思考を促す構造的な板書。			

(2)	学ぶ基礎を培う学習習慣づくり	
教科の特性や価値を踏まえた、連続的な課題意識と振り返りにより、学びの基礎・基本が定着する授業を行う。	○学習の見通しをもたせたことで、児童が単元で何を身に付けるとよいかを意識して学ぶことができた。 ○学習を振り返る場の設定により、児童が自己の内容の理解や学び方について認識できてきた。 ●教科の本質や価値を踏まえ、付けたい力を明確にした授業を展開すること、さらに、習得した知識・技能を活用・探究する場面を設定するなどして、学習の有用性を実感できるようにする。	A
実施した事業の内容		
・身に付けさせたい力の共有。 ・見通しをもたせる学習計画の作成。 ・学びの連続性を意識した単元を通した学習課題の設定。 ・次時につながる振り返りの場の確保。		

重点課題 2 豊かな心の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	自己肯定感の育成と共感的な人間関係づくり		
一人一人が自分のよさを発揮し、互いを共感的に受けとめることができる集団作りを工夫する(居場所づくり、絆づくり)。		◎自他のよさに気づき、それを互いに伝え合う児童が増えたことにより、自己肯定感の高まりや学年間の枠を超えた人間関係の深まりが見られるようになった。 ○高学年に任せ、自己決定の場を増やしたことで、自己有用感が高まり、学校のリーダーとして自ら考えて行動することができるようになってきた。 ●各取組がマンネリ化・形骸化せず、活動の意義が実感できるように、見直しや工夫改善を図る。	A
実施した事業の内容			
・互いのよさや感謝の気持ちを表す場の設定。 ・異学年・ペア学年交流による仲間づくり。 ・児童会活動や縦割り班活動、ボランティア活動によるリーダーの育成。 ・グループエンカウンターの実践による人間関係づくり。			
(2)	人権尊重社会の実現に向けた人権教育		
三豊市人権教育教材集「人権」を活用した授業実践を積み重ねる。		○人権問題について、保護者とともに考える場をもつことで、学校だけでなく家庭における人権教育の推進にもつながっている。 ●授業での学びが日常の言動につながるよう、実践後の指導を継続していく必要がある。さらに、コロナハラスメントなど身近な人権問題について、児童や保護者とともに考える場をもつ必要がある。	A
実施した事業の内容			
・教材集を活用した計画的な授業実践(管理職参観・校内研修)。 ・保護者・地域・幼稚園への公開授業実践。 ・実践授業に向けた関係団体と連携した資料の教材研究や模擬授業による指導方法の検討・改善。			

重点課題 3 健やかな体の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	規則正しい生活習慣の確立		
家庭と連携した、生活習慣の基本(食事・睡眠・適度な運動)の徹底を図り、節度をもったメディア利用習慣を浸透させる。		◎保健学習やチェックカードにより、児童に自己を振り返らせたことで、基本的な生活習慣づくりの重要性について理解を深めることができた。 ○全校的な呼びかけにより、節度のあるメディア利用についての児童や保護者の意識が向上した。 ●生活習慣の改善が難しい児童がいるので、保護者への啓発活動をより一層推進し、家庭での自主的な取組を促していく。	A
実施した事業の内容			
・保健学習や強化週間、小児生活習慣病予防検診の実施。 ・運動カード等活用。 ・児童会を中心としたメディア利用に関する呼びかけ。 ・保健や給食・食育に関するたよりの発信による保護者啓発。			

重点課題 4 社会の変化に対応する力の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	論理的思考力・情報活用能力の育成		
各教科等の特性に応じて論理的思考力・情報活用能力を高めるプログラミング教育の充実を図る。		○プログラミングソフトの活用や調べ学習、表現物の作成等により、児童の興味関心が高まるとともに、理解が深まった。 ○プログラミング教育の公開授業等により、職員の基礎的な知識・技能を共有することができた。 ●プログラミング教育を通して育成する資質・能力の系統性を明確にし、年間指導計画や配当時間の見直しにより各学年での活用を促進する。	B
実施した事業の内容			
・各教科におけるプログラミング教育の見直し。 ・プログラミング教育の授業実践と校内研修の実施。 ・関係機関との連携・指導。 ・各学年の発達段階に応じた情報モラル教育の充実。			

③ 中学校の教育方針

担当課:学校教育課

基本方針	「三豊市の誇り」と「生きる力」を身につける教育の推進
------	----------------------------

重点課題 1 確かな学力の向上

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	生徒主体の授業づくり		
○あらゆる教科学習や「対話」・「自問自答」の土台である、基礎的な読解力の向上のための母国語教育の充実を図る。		○教師の言葉を精選することで、生徒同士の対話の時間をより多く確保できた。 ○発問や学習課題を工夫することで、すべての生徒が考えやすく、対話も行いやすくなった。 ●コロナ禍の中での対話の方法や環境を工夫する必要がある。	A
実施した事業の内容			
・「読む」「考える」「聴く」を意識した授業構成 ・対話の充実を目指した学習課題の工夫 ・各教科の学習と連動した学校図書館教育			
○他者との「対話」や立ち止まりや振り返りの際の「自問自答」が伴う授業展開による深い学びの実現に努める。		◎自分の意見を述べたり、その意見を認めてくれたりする機会があることで、授業に対してより一層意欲的に取り組むようになった。 ○対話や振り返りを充実させるための工夫について全教科で共通理解・共通実践を行うことで、生徒にとっても対話や振り返りが学習活動として定着してきた。 ●教師の授業改善への意欲やファシリテーション能力の向上のための校内研修の充実が必要である。	
実施した事業の内容			
・学びを深める授業展開の工夫 ・自問自答を促す学習課題・発問の工夫 ・学びの振り返りの場の設定			
(2)	学ぶ基礎を培う学習習慣づくり		
○教科の特性や価値を踏まえた、連続的な課題意識と振り返りにより、学びの基礎・基本が定着する授業を行う。		○生徒の振り返りが、何を学んだかという授業内容のみの振り返りから、どのように学んだかという学び方についての振り返りへと進化してきた。 ●学びの連続性を意識した振り返りではなく、1時間の授業についてだけの振り返りになっている。	A
実施した事業の内容			
・学びの切実感のある学習課題の設定 ・振り返りと課題設定、解決への見通しを意識した授業実践			

重点課題 2 豊かな心の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	自己肯定感の育成と共感的な人間関係づくり		
○一人一人が自分のよさを発揮し、互いを共感的に受けとめることができる集団作りを工夫する(居場所づくり、絆づくり)。		◎構成的グループエンカウンターなどを通し、学級や学年団で互いを認め合える支持的風土を醸成できた。 ○コロナ禍の中での行事等の運営について、生徒が主体的に考える場面が増えたことで、与えられた役割だけでなくボランティア活動にも意欲的に取り組む姿が見られた。 ●他に頼るだけではなく、自己解決能力を高める必要がある。	A
実施した事業の内容			
・生徒の主体性を育む学校行事・生徒会活動 ・行事を核とした道徳授業・学級活動の充実 ・互いの「よさ」を認め合う振り返り活動			
(2)	人権尊重社会の実現に向けた人権教育		
○三豊市人権教育教材集「人権」を活用した授業実践を積み重ねる。		◎全職員、保護者、関係機関、町内小学校代表の参加による模擬授業や授業実践を通してさらに研修を深めることができた。 ○コロナ過ではあったが、計画的かつ工夫して授業や人権集会を実施することができた。 ●思いを語り合う授業実践については、今後改善していく必要がある。	A
実施した事業の内容			
・教材集を活用した授業の計画的実施 ・公開授業の実施や外部講師を招いての人権学習 ・他校・異校種間の連携や保護者啓発			

重点課題 3 健やかな体の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	規則正しい生活習慣の確立		
○家庭と連携した、生活習慣の基本(食事・睡眠・適度な運動)の徹底を図り、節度をもったメディア利用習慣を浸透させる。		◎教育相談や生活調査を通して生徒の実態を把握し、生活習慣を見直す手立てを工夫することができた。 ○毎月発行する給食だより・保健だよりを通して、保護者啓発に努めた。 ●SNSによるトラブルやゲーム依存が疑われる生徒が増加しているため、家庭との連携を強化し、メディア利用の良習慣を推進する必要がある。	B
実施した事業の内容			
・メディア利用を含む定期的な生活点検調査 ・教育相談 ・保健だより等による啓発活動や家庭との連携 ・外部講師を招へいた「スマホ・ケータイ安全教室」			

重点課題 4 社会の変化に対応する力の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	論理的思考力・情報活用能力の育成		
○各教科等の特性に応じて論理的思考力・情報活用能力を高めるプログラミング教育の充実を図る。		○タブレットの利用を促進し、授業での情報活用を推進することができた。 ○技術科の授業で、プログラミングを用いたロボット操作の課題解決学習を行った。 ●各教科の特性に応じた教材開発が必要である。 ●全教職員のICT技能の向上と生徒の情報モラルの育成に向けた研修が不可欠である。	B
実施した事業の内容			
・ICT機器の活用についての校内研修 ・電子黒板やタブレットの効果的な活用研究 ・技術科授業における基礎的プログラミング学習 ・情報モラル学習			

④ 人権教育の推進

担当課:学校教育課

基本方針

人権が尊重される住みよい三豊市の実現を目指した人権教育の推進

重点課題 1 学校人権教育の推進

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	人権教育教材集・人権教育紙芝居を活用した人権教育の充実		
○人権教育年間指導計画を作成し、計画的に実施する。		◎人権教育推進のための共通認識と組織・体制が整えられてきた。	A
実施した事業の内容		○保・幼・小・中学校が連携して人権教育の推進に継続して計画的に取り組めた。	
・基本方針や目的に沿った取組。 ・中学校区を単位に定期的な研修会や討議会を開催。情報・意見交換。		●就学前の保育士・幼稚園教員と子どもたちとの関わりの場を、小・中学校の教職員が参観することによって、縦のつながりの中で15年間の子どもの成長に一層関わられるようにしたい。	
○授業公開とその後に検討評価の会を開くことで教員の指導力の向上を図る。		◎三豊市すべての保・幼・小・中学校で人権紙芝居と人権教育教材集「人権」が系統性を意識しながら、実践できるようになった。	
実施した事業の内容		○教職員の人権意識と指導力の向上により、児童・生徒及び保護者の理解と人権意識が深まっている。	
・人権教育教材「人権」を使用した授業公開・実践後の討議会の開催。意見交換・指導・助言。 ・保・幼・小・中学校教職員等を対象とし、人権教育指導員が講師を務めた講演会、研修会等の開催。		●コロナ禍の中、授業数の減少により人権に関する授業の確保が難しくなっている。授業数の確保に努めたい。	
○人権教育指導員が授業実践の前後に教材理解等の支援を行う。		○小・中学校には、人権教育教材集「人権」の活用を促進するとともに、公開授業・討議会等の各種研修会に参加して、その成果と課題について指導・助言を行い、教職員の指導力の向上を図ってきた。	
実施した事業の内容		●市内各ブロックごとに実施している各種研修会の代表で作る市学校人権・同和教育研修会の内容充実と開催数の確保。	
○地域や学校間の格差の是正及び解消を図るため、市作成の人権教育教材集「人権」「同指導案集」「同実践事例集」などを全ての学校で有効に活用する。		○「指導案」や「実践事例集」を活用することで、主に同和問題学習の取り組みに対して共通理解と深まりがみられた。	
実施した事業の内容		●人権教育教材集「人権」の授業実践をとおして、指導案や指導内容の検討を一層積み上げることで、格差の是正をより図っていききたい。	
人権教育教材集「人権」の指導案・実践事例集を活用し、教材研究・実践、格差の統一化。			

○ 三豊市学校人権・同和教育研修会の取り組みを通して、三豊市全体の人権・同和教育の質を高める意見交換の場とするとともに、これまで各地域で実施している研修をさらに充実する。		
実施した事業の内容		
・ 三豊市全体の人権・同和教育の課題を協議・解決する取り組みとし、保・幼・小・中学校の代表者、関係行政の各課、隣保館、児童館の代表者が一同に参加する年間3回の研修会を開催。	○ 人権教育教材集「人権」を使った公開授業とその後の討議会等とおした授業交流により、それぞれの実践授業の質の向上を図っている。 ● 地域事情により取扱いに注意を要する教材もあるため、次回の教材改訂に関しては地域教材の制作を中心に努めていきたい。	
(2)	学校・家庭・地域社会との連携・協力	
○ 保育所、幼稚園の人権担当教職員、並びに小・中学校の学力・進路支援担当及び人権・同和教育主任の合同研修会を持ち、教材の共通理解と情報交換を行う。	○ 人権紙芝居や人権教育教材集「人権」を使った人権教育の実践をとおして、保育や授業案の検討によって、共通理解と実践の深まりがみられた。	
実施した事業の内容		
・ 中学校区を単位に、保・幼・小・中学校が合同又は単独の研修会を開催。意見交換。	● 地域教材を取り入れるなど今後の教材作成を十分視野に入れた取り組みを進めていきたい。	
○ 学校・家庭・地域社会の連携・協力を維持するため、保護者参画型の授業づくりや地域の資源を活用した授業・教材づくり等の工夫を図る。	◎ 人権学習を授業参観等で公開する小・中学校が多くみられるようになってきた。 ○ 人権学習の定着によって、子ども、保護者が一層身近な問題として考えられるようになってきた。	
実施した事業の内容		
・ 人権・同和学习の年間計画の説明。授業前後の子どもたちの様子を保護者から聞き取り。 ・ 児童生徒による人権劇。	● 教職員や学校間で授業内容に差がみられ、家庭や地域との連携にはより一層改善に努めていかなくてはならない。	A
○ 被差別の立場の人々の積極的な参加や協力を得て人権学習を進め、連携を推進する。	○ 教職員の人権感覚を磨き、児童生徒に対して被差別の立場の人々の思いを伝える学習を実践できた。	
実施した事業の内容		
・ 授業公開に向けた取り組み、実践と討議会、研修会などの場で、地域の方との意見交換を基に指導案づくり。	○ 保護者と連携した学習の広がりや高まりがみられた。 ● 地区を有する、有しない校区とも同一の授業が展開できるように指導案等の検討・改善が必要である。	

重点課題 2 社会人権教育の推進

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	研修会の充実		
○PTA総会や公開授業の機会を捉え、保護者等への研修会を実施する。		○講演会や授業参観等をとおして、保護者等に人権・同和問題について理解を深める機会を提供することが増えてきた。 ●近年のLGBT等の人権問題にも関心が深まるように、それぞれの専門分野を有する外部講師の選出に努めていきたい。	A
実施した事業の内容			
・保護者等を対象に、保・幼・小・中学校が開催する人権講演会へ人権教育指導員や外部講師の派遣。			
○公民館・隣保館等の社会教育施設において、学習活動の充実を図る。			
実施した事業の内容			
・研修会・講演会に、人権教育指導員や外部講師を派遣。文化祭等にも協力。			
○身近な人権問題や参加型学習等の内容の工夫・改善を行う。		◎ 公民館での人権講演会開催がほとんどの町で定着してきた。 ● 公民館での人権に関する行事への参加者の拡大を図っていく必要がある。	
実施した事業の内容			
・定期的に市広報誌「広報みとよ」へ人権啓発記事を掲載。			
(2)	人権教育指導者の育成		
○社会教育関係団体や公民館等の指導的立場にある人々を対象とした研修会を充実させる。		○県主催の指導者研修会等に教員を含めて参加した。 ●現地研修や被差別者の体験談を聞くなど一層効果的な内容等を再検討し、研修を重ねることで、リーダー的人材を養成する必要がある。	A
実施した事業の内容			
・公民館等の各種団体の研修の場に、人権教育指導員を講師として派遣し、人権・同和問題に関する講演会等を開催。 ・人権教育の指導者養成のための各種研修会・講演会等へ積極的に参加。			
○市職員を対象に人権意識・人権感覚の向上のための研修会を継続的に実施する。		◎ 人事課、人権課との連携協議し、全正規職員を対象に、これまでより踏み込んだグループ討議形式の研修会を実施できた。 ● 正規職員以上にいる会計年度任用職員に対する研修会の実施及び研修会の回数の確保。	
実施した事業の内容			
・人権課が毎年実施している職員の人権・同和問題研修会で、人権に関する意識調査。			

⑤ 学校等施設整備の推進

担当課:教育総務課

基本方針	子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設等の整備
------	-------------------------------------

重点課題 1 子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設等の整備

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●		評価	
(1)	学校等施設整備の推進				
○非構造部材(外壁等)の改修工事、特別教室空調設備整備工事等を実施し、子どもたちが安全な学校施設で安心して学ぶことができる学校環境を整備する。 <整備計画> ・小・中学校非構造部材(外壁等)改修工事 ・定期点検の結果に基づく危険性のある施設の改修・修繕工事 ・トイレの洋式化改修工事 ・特別教室空調設備整備 ・プール改修工事		◎経年劣化により落下の恐れがあった、外壁の改修工事を実施したことで、児童生徒の安全性が確保された。 ◎トイレ洋式化や特別教室の空調設備整備を行ったことで、学習環境改善が図れた。 ●今後も、外壁の落下防止対策工事や雨漏りによる屋上防水改修を行うとともに、今年度引き続きトイレの洋式化や特別教室空調化を実施することで、学校施設の安全対策や学習環境の整備に努める。		A	
実施した事業の内容		トイレ洋式化率(小中学校)			
・経年劣化により落下の恐れがある、松崎小校舎・屋体、詫間小校舎及び三野津中校舎、詫間中校舎の外壁改修。 ・上高瀬・大見・吉津・松崎・詫間小学校の計5校のトイレ洋式化。 ・麻・大見・下高瀬・仁尾小学校の計4校の理科他特別教室空調設備整備。 ・豊中中学校のプール塗装修繕。		R元	R2		R3(目標)
		54.8%	61.8%		65.9%

⑥ 学校再編整備の推進

担当課:教育総務課

基本方針	子どもたちが互いに学び合う機会をつくり、たくましく育つ環境の整備
------	----------------------------------

重点課題 1 子どもたちが互いに学びあう機会をつくり、たくましく育つ環境を整備

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	学校再編整備の推進		
○適正規模、適正配置を考えるうえで、地域社会、財政等も考慮し再編整備を推進する。 <整備計画> ◎令和2年度 ・幼稚園、小学校再編整備推進		豊中地区学校再編整備 ○豊中地区学校再編整備地域協議会の設立に向け、各団体の委員について確認を行った。 ●地域・保護者の理解を得、豊中地区学校再編整備地域協議会を開催し、統合を進める。 ●基本方針から概ね10年が経過することから、今後は見直しに向け、取り組んでいく。	B
実施した事業の内容			
・豊中地区学校再編整備 昨年度に引き続き、豊中地区学校再編整備地域協議会の設立、統合を進める。			

⑦ 生涯学習の方針

担当課:生涯学習課

基本方針	生涯にわたって学び、学習成果を地域社会に活かす市民力都市・三豊
------	---------------------------------

重点課題 1 生涯学習推進の環境づくり

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	公民館の拠点機能の強化		
○公民館の学習講座受講者数は年々増加しているものの、利用する世代に偏りがあるため、幅広い年齢の利用者の掘り起しに努める。		◎公民館講座は、コロナ禍を考慮した講座の開催に努めた。各地区館で地域の特色を活かした講座を企画した。	B
実施した事業の内容		○ローカルの防災無線、市HPで情報を発信月平均2,000ページビューの閲覧がある。	
・広報紙、防災無線、市HPを利用して講座情報や事業報告を幅広く発信 ・幅広い年代の学習活動を促進する事業を展開		●各町公民館同士で連携を図った講座を計画していたが、コロナ禍のなか開催ができなかった。旧町の地区の枠を超えた交流を今後も計画し、開催していきたい。	
○地域住民の参画を得つつ、真に市民・地域の学習、地域づくりの拠点となるよう、公民館の拠点強化及び、関係機関との連携を図る。		◎ 学校や体協、社協等と連携を取りながら行事を企画・運営、参加率も高く大きな盛り上がりを見せており、拠点となっている。	
実施した事業の内容		○ 防災に関しての講座や訓練は、継続して、地区館も分館も開催してきた。地域拠点としての公民館の防災に対する意識は年々高くなってきている。	
・学習活動だけでなく学習成果を活かし地域に還元できる行事・講座を実施 ・安心・安全に関する学習講座を実施 ・情報共有や研修を実施		● 学校統廃合の関係で地域から小学校、幼稚園がなくなり、学校等との連携が難しい地域が出始めたため、土日の行事を開催し、子どもたちが参加しやすい企画を工夫する必要がある。	
(2)	図書館の拠点機能の強化		
○老朽化の著しい施設が多く、移転が必要な図書館もあるため、市全体の図書館の再編を進め、市民が図書館に期待する蔵書やサービス、機能の拡充に努める。		○平成29年度に策定した図書館基本計画に基づき、「みとよ未来図書館」が市内の図書館の中で、中央館としての機能を担い、蔵書構成や各種イベントの実施等において中心的役割を担える体制にした。	
実施した事業の内容			
・図書館基本計画の推進 ・三野町図書館の移転			

○利用頻度の低い若い世代や現役世代などの意見を踏まえながら、より利用しやすい図書館、多様な機能を併せ持つ図書館運営を目指す。	○ 秋の読書週間に合わせ、各館ごとに特色あるイベントや展示等を行なった。	A
実施した事業の内容	○ 子どもの読書活動推進のため平成30年度に策定した「第3次三豊市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの活字離れ対策としての読書活動の推進を行った。	
・ 図書館基本計画の推進 ・ 学校回送事業の改善 ・ 図書館フェスタ ・ おはなし会研修講座 ・ 図書館システムの更新周知	○ 選書機能を集約し、効率的な予算執行や、館毎の特色を出しやすい体制を整えた。 ● 今後は図書館基本計画に基づき、利用者の利便性を高めるため開館時間や休館日の見直し、ワークショップ等を開催し、市民ニーズを把握していく必要がある。	

重点課題 2 家庭教育力の向上

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	保護者の学習機会の拡充		
○仕事などで参加できない保護者もいることから、より多くの保護者に家庭教育の大切さを理解していただき、保護者同士で学び合える事業の展開と実践に努める。		○家庭教育学級では市内外から講師を招いた講演会や親子活動など、コロナ禍を考慮した多彩で内容のある研修が実施できている。(4月～3月末までの開催14園、延べ24回。親子体操、親子製作活動、地域文化の継承、交通安全教室等)	B
実施した事業の内容		●コロナ禍ではあるが実施校園の拡大のために、市内校園長会、教頭会等の折に一層情報提供を行う。	
・家庭教育学級の実施を促す助成 ・子育てに関する各種パンフレット、他団体実施の事業に関する情報提供 ・県事業、国事業に関する情報提供		●家庭の状況が多様化する中で、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級の実施が急がれる。市内校園長会・教頭会で継続して実施を呼びかける。	
○少子化・核家族化に伴い、家庭における子育てが一層重要になっている社会的背景を踏まえ、子育ての楽しさや責任を学ぶ家庭教育学級の充実を図る。		○ 家庭教育学級未実施校への主旨の説明と諸手続きに関する情報提供を実施した。コロナ禍ではあるが、年度初めの計画は、幼稚園14園、小学校3校で提出された。	
実施した事業の内容		● 市内すべての幼小中で、家庭教育に関する啓発が実施されているが、中にはPTA研修として行われている場合も見られる。「子育ての楽しさや責任を学ぶ」「家庭教育の在り方を学ぶ」といった本来の視点からの活動への見直しを呼びかける。	
・「家庭教育学級」開催の意義と目標の説明 ・未実施校への実施の呼びかけ			

(2)	家庭教育に関する地域活動の活性化	
○家庭教育への主体的・積極的な働きかけを行う。	○家庭教育支援チームの活動情報を市内の子育て世代にチラシで配布できた。講師を招いた講演会や親子活動など、コロナ禍を考慮した多彩で内容のある研修が実施できている。 ●コロナ禍であり、保護者への情報提供があっても、活動参加には学習中の預かり保育が必要となっている。 ●家庭の状況が多様化しており、学習機会も多様化していくことが望まれる。ネット環境を整備し、リモート学習も形態として含まれていくようにしたい。	
実施した事業の内容		
・令和2年度「家庭教育支援の取組に関する調査」のため、市内家庭教育支援チームとの連携の実施 ・各校園の取り組み強化のために、県の「家庭教育支援ボランティア派遣事業」の周知等各種情報の提供 ・就学前保護者啓発事業など、県事業の積極的な導入 ・令和3年度「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の広報と募集活動の実施		
○保護者それぞれの考え方がある中で、様々な視点から家庭を見守ることのできる仕組み作りに努める。	○社会教育委員会が市の社会教育全般について提言することができるように実施方法を改善し、地域でのリーダー育成について等実践的な討議が行われるようになった。 ○社会教育委員へ、地域学校協働活動に関する研修を行った。 ●地域学校協働活動など、仕組み作りについては、学校教育課で推進しているコミュニティスクール体制づくりと連携し、教育委員会として積極的に取り組む姿勢を期待したい。	
実施した事業の内容		
・社会教育委員会の内容の改善 ・地域学校協働活動についての情報提供		
○家庭に最も近い存在であるPTA連絡協議会や地域団体などの地域・保護者・学校の三者が強く連携し、家庭教育に関する啓発と学習機会の拡充を図る。	○誌上開催となった指導者研では、幼小中別分科会でテーマに沿ったPTA活動の在り方について誌上発表し、各園・校で研修とした。 ○単P代表者研修会・母親代表研修会など、外部研修に積極的に参加。 ○コロナ禍ではあるが、年間3回の母親研修会、幼稚園部会研修会、広報編集作業などを順調に進めることができ、市P広報紙で成果を広く周知できた。 ●役員がさらに主体的・積極的に活動を推進していく体制作りを急ぎたい。	B
実施した事業の内容		
・コロナ禍により指導者研を誌上開催として実施(幼小中分科会に分かれて実践報告) ・県P、四国Pなどが行う研修会への積極的な参加 ・母親部会、広報委員会、幼稚園部会を計画的に実施		

○家庭教育を含む地域教育活動の中心となるリーダーの確保・育成を図る。	○ 家庭教育支援チームとして県教委を通して文科省に登録した「ぴっぴ子育てチーム」の活動と連携をとった。
実施した事業の内容	○ 今年度実施した市子連「子ども広場」では、児童全員へのチラシ配布やホームページでスタッフを募集した。コロナ禍のなか、地域教育活動への関心を高める方策となった。
・文科省が公募している家庭教育支援チームへのチーム登録を推進 ・市子連「こども広場」実施にともない、運営スタッフを募集することでリーダー発掘と養成 ・ジュニアリーダーの活動の助成	○ 人数は3人と少人数だが、ジュニアリーダーが子ども広場や町子連で活躍。
○多様なアプローチから家庭教育支援が行われるよう、関係機関と連携する。	● 子ども会活動の指導者・JL・シニアリーダーの育成が課題である。
実施した事業の内容	○ 警察、図書館、社協、市人権指導員、地域の各種専門家、県教委の指導員等、多くのプロとの連携により、家庭教育力の向上を目指す取り組みが多く見られている。今後も活用が進むよう積極的に情報提供を行う。
・県事業「さぬきっ子安全安心ネット指導員」「家庭教育推進専門指導員」の活用 ・各種団体と連携した活動 ・地域人材を活用した活動の実施	● 公民館を核とした連携協働が今後の課題である。

重点課題 3 文化・芸術活動の促進

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	文化・芸術活動の環境づくり		
○市民の潜在的な活動意欲を実現するため、市全体で文化・芸術活動の気運を高めていく。		○マリンウェーブの管理運営を指定管理者に委託することにより、様々な文化・芸術活動が展開され、市が直営で行うよりも多種多様なメニューを市民に提供することができた。	
実施した事業の内容		○今後の文化・芸術活動をどのように推進していくかについて、文化芸術振興計画を策定中である。	
・指定管理者によるマリンウェーブ事業の実施 ・三豊市文化芸術振興計画の策定			

○活動の中心となる文化協会の活性化と効率的な運営を支援する。		○ 市文化協会へ補助金を交付することにより、各団体の活動を支援し、市民の文化振興を推進した。 ● 協会の更なる自主・自立に向けて、資金面での補助だけでなく、活動の推進に向けた指導等が必要である。	B
実施した事業の内容			
・ 市文化協会に対する活動補助金の交付			
○多様な文化・芸術活動が行われるよう、文化協会の主体的かつ活発な活動を中心に市全体の環境づくりを推進する。			
実施した事業の内容		○ 会報、市広報、防災無線等を活用し、文化活動の周知ができた。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は文化祭や県展中止により市内展示会の開催ができなかった。 ● 新規加入者数が少ない。若年層の増加がないので、若い世代が加入しやすい環境づくりが課題である。	
・ 市文化協会主催の文化祭の開催 ・ 文化団体の活動の紹介 ・ 市全体での文化祭の実施 ・ 県展の入賞、入選作品を市内で展示			
(2)	伝統文化の継承と新しい文化・芸術の創造		
○少子化・高齢化が進む中、伝統芸能や地域行事を継承する担い手の育成に努める。		◎国庫補助を活用した担い手の技術向上・後継者の育成を中心とした事業を継続して行った。 ●担い手育成には多少なりとも予算が必要であるが、補助金の額も年々減少していることから、補助金頼みとなりがち各団体の資金面の体質改善や新たな収入を考えていく必要がある。	
実施した事業の内容			
・国庫補助事業を活用した地域における後継者育成の取り組み			

○地域の大切な財産である伝統・風習が次代に継承されるよう、市民・地域・学校・関係機関と連携し、担い手の育成とより多くの人が、見る・触れる機会の拡充を図る。	○ 県との連携を図り、補助事業や助成事業について、公民館や文化施設等に広く周知できた。	B
実施した事業の内容	○ 市内の小・中学校やマリンウェーブ等の施設に対し、文化・芸術にかかる情報を周知した。	
・ 市内の学校や施設、各種団体に等に対する文化事業の案内、参加促進 ・ 積極的な情報発信による広報	○ 文化・芸術による子どもの育成事業の普及に取り組んだ。 ● 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は、伝統芸能等の上演等、市民が文化財に触れる機会を提供できなかった。 ● 実施希望校が減っている為、今まで取り組めていない学校に対する更なる周知が必要である。	
○市民の主体性が発揮され、新しい文化・芸術が創造されるよう、多様な活動を積極的に支援する。	●今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、文化祭を開催することができなかった。 ● 新しい文化・芸術の創造に向けて、既存の文化協会の団体とマリンウェーブ、文化協会に属していない団体の活動等、市全体で今後の取り組みを考えていく必要がある。	
実施した事業の内容		
・ 文化協会を主体とした文化祭の開催		

重点課題 4 文化財の保護・継承

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	貴重な文化財の適切な保護		
○指定を受けていない貴重な文化財が残存することから、適切な文化財の保護に努める。		○業者等が開発行為を行う前に包蔵地の照会を行い、適切な文化財の保護に努めた。	
実施した事業の内容		●各種開発工事の際に、文化財が破壊されていないかどうかを確認するために、今後は市文化財保護協会等と連携を取りながら確認していく必要がある。	
・埋蔵文化財包蔵地照会の徹底			

○ 地域の歴史と伝統を後世に伝える文化財の適切な保護のための発掘調査及び保護事業を推進する。		A
実施した事業の内容		
・船越遺跡、大塚古墳の発掘調査を実施		
○地域に根差した文化財保護体制の強化に向けて、文化財の価値や調査の成果をわかりやすく伝え、市民の文化財保護意識の向上に取り組む。		A
実施した事業の内容		
・ 詫間町考古館における各種企画展の開催 ・ 古文書講座や歴史講座等の開催		
○ 詫間町民俗資料館において、館内の模様替え展示品替えを行い、ふるさとの歴史や文化への意識向上が図れた。そのほかにも、様々な体験や企画展を実施した。		A
○ 公民館の歴史講座や文化財保護協会の講演会等で地域の文化財を取り上げ、市民の文化財に対する意識向上が図れた。		
● 市内には多くの興味深い文化財があるが、まだまだ伝えきれない。特に若い世代に対する啓発ができていない。今後は、文化財保護協会と協力しながら、文化財の魅力を発信する必要がある。		
(2)	より幅広い分野への文化財の活用	
○地域での受け継がれてきた知恵、技術、伝統行事を後世に残すため、より多くの人に文化財の価値を周知し、様々な分野での活用努める。		B
実施した事業の内容		
・歴史講座等の開催		
○ 歴史や先人の知恵を物語る文化財を通して、郷土への愛着心を育む学校教育と生涯学習の充実を図る。		B
実施した事業の内容		
・ 詫間町民俗資料館・考古館における小学生を対象とした民具等の体験学習 ・ 宗吉かわらの里展示館における陶芸体験等		
○ 昔の人が知恵をしばり、工夫して使ってきた民具を実際に使い、きな粉づくりや縄づくりを行うことで、昔の人の道具に対する思いを感じ、昔の暮らしを想像する体験ができた。		B
○ 国指定文化財の宗吉瓦窯跡で陶芸体験や張子の虎づくりを行うことにより、文化財や伝統文化に触れる機会を提供できた。		
● 学校教育の中では文化財の学習がほとんどできていないため、学校と協力して子どもたちへの周知を図る必要がある。		

○観光、まちづくり、地域活性化など幅広い分野において、郷土の歴史と文化財を活かす取り組みと環境づくりを推進する。	○ 宿泊施設として利用されている鳥取邸(豊中町)及び松賀屋(仁尾町)の建物の国指定(登録有形文化財)について準備を行った。
実施した事業の内容	● 文化財を観光に活用する流れは全国的に認められるが、保護と活用は相反する要素があり、積極的に活用することが文化財の破壊につながる可能性もある。この矛盾を理解したうえで、基本計画や保存活用計画を策定し、文化財をいかに活用していくかについて体系的に考える必要がある。
・ 鳥取邸及び松賀屋の登録有形文化財(建造物)指定に向けての準備	

重点課題 5 学習成果を地域に還元する仕組み

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	全市的な仕組みの構築		
○あらゆる分野で自発的な市民活動が期待される今日、市民の地域貢献への意欲を後押しし、個人の活動→市民・グループの自主活動→地域社会への貢献やボランティアへとつなげることを「仕組」として構築する。		●今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、読み聞かせボランティアグループを対象に研修会を開催できなかった。	B
実施した事業の内容		●ボランティアの育成や市民一人ひとりが持つ知識や経験を発揮する場を提供することにより、地域の一員として重要な役割を担うという意識を持つことに繋げていきたい。	
・各種社会教育団体等における自発的で活発な活動の推進 ・読み聞かせボランティアを対象とした研修会の実施		●多くの市民が、生涯学習を通じてもっと地域に目を向け、地域活動に自主的に参加する機会を高める必要がある。そのために、公民館や図書館、各種団体等が交流する機会をもっと増やし、様々な事業に連携して取り組めるようサポートし、活性化を図る。	
○「市民力都市・三豊」の実現に向けて、健康増進、交流の活性化、教育環境の向上、文化の継承と創造に重点を置き、市民・団体と一緒に学習成果を地域に還元できる仕組みを構築する。		○ 地域住民が自分たちの活動の中で培った力を地域で発揮し、自発的に取り組むことで、さらなる地域の活性化や安心・安全なまちづくりにつながった。	
実施した事業の内容		● 市民一人ひとりが地域の中で力を発揮し、自分たちの地域のことは自分たちで考えて行動できる場を増やすとともに、市民の力をまちづくりに生かせる仕組みについて行政や市民、様々な団体等が協力して、一緒に考えていく必要がある。	
・ 地域住民が老若男女を問わず自発的に交流できるイベント等の実施			

⑧ 青少年の健全育成

担当課:生涯学習課

基本方針	地域で見まもり・地域に教わり・地域で育てる
------	-----------------------

重点課題 1 青少年教育の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	少年期の健全育成		
○少年の健全な育成を図るため、非行を防止し、明るい家庭と住みよい地域づくりに努める。		◎個別の要請や情報提供に応じて、現場への臨場や確認。事後の対応・継続実施。 ○臨時休業中にセンター補導員による補導活動を午前・午後を実施し、一定の成果を得た。 ○地域・学校・関係者等と連絡・連携することで、子どもの様子をより詳しく共有したうえで時機に合わせた補導活動ができた。 ●コロナ感染防止の観点から各種研修は取り止めるを得なかった。	B
実施した事業の内容			
・南三町補導員研修会、北三町補導員研修会、仁尾補導員研修会は中止。補導員総会は臨時理事会として開催。運営協議会は開催。 ・JR駅早朝補導(市内全駅・毎水曜) ・小学校周辺パトロール(毎水曜午後) ・薄暮補導(日没に合わせた時間帯に変更) ・特別補導(各町1回・年間7回)は祭中止に伴い中止。 ・地域や各校からの情報を受けての臨時補導を実施。 ・コロナ感染防止に伴う臨時休業中に広報・補導活動を実施。			
○少年の規範意識や社会的な自律意識の向上を図るために、中学生による「一日補導員」体験や喫煙防止・万引き防止キャンペーン等を行う。		○「中学生一日補導員体験活動」は中学生の教育活動としての位置づけや部活動との関係について積極的に検討し、実施時期や内容について見直しを図った計画を立てることができたがやむを得ず中止となった。 ●すべての活動についてさらに効果的なものにしてしようとする視点で、存続そのものについても内容についても見直しを常態化しなければならない。 ●趣旨に合致する新たな活動を模索する必要がある。	B
実施した事業の内容			
・「中学生一日補導員体験活動」は中止。 ・「非行防止キャンペーン」中止。 ・2回開催予定の「未成年者喫煙防止キャンペーン」中止。 ・「地域安全運動防犯キャンペーン」参加要請なし。			

(2)	家庭や地域との連携・支援	
○「教育の根源は家庭にあり」を基本とし、関係機関と連携しながら家庭教育の重要性を訴えるとともに、家庭に向けた「子育て支援リーフレット」を作成・配布する。		○学校と連携し、リーフレットを保護者に配布することで、家庭教育に関する意識の高揚と啓発につながる資料となった。 ●家庭環境や情報環境等の変化が激しいため、今後、改訂する期間を検討する。
実施した事業の内容		
・「子育て支援リーフレット」を年度当初に各保・幼・小・中に配布。 ・来年度用「子育て支援リーフレット」を3月に各保・幼・小・中新入者に配布予定。		
○子どもの被害防止に向けて、安全安心パトロール隊や子ども見守り隊などの地域ボランティア活動に対する協力と支援を充実させる。		◎ 継続的なパトロールによって、不審者情報の減少を常態化させることができている。 ○13名が新規に隊員登録した。 ○ 地区ごとの会をもつことで、地域での防犯意識を向上させることができた。 ● 隊員の高齢化に伴い、今後も隊員の募集に努め、活動の充実を図りたい。 ● 今後は各小学校の共通理解をさらに図るために、説明をしたり資料を配布したりしながらの働きかけを行っていきたい。
実施した事業の内容		
・安全安心パトロール隊員対象の警察による「青色防犯パトロール運転者講習会」(1月)を開催予定。 ・安全安心パトロール隊の地区代表や各学校との情報交換。 ・講話依頼の校区(神田)での研修会。		
○青少年健全育成市民会議により、学校や地域が行う健全育成活動を支援するとともに、あいさつ運動やふれあい活動を推進する。		○ 継続的に「善行青少年」「青少年健全育成功労者」を顕彰することで、日常的な善行に対する意識が高まっている。 ○ 香川県地域密着型スポーツ活用協議会交流事業で「香川ファイブアローズ」を招致する予定だったが中止した。 ○ 青少年健全育成事業「表彰式並びに講演会」は中止となり、表彰状は10月吉日に各校及び自宅へ配布した。 ● 講演会参加者数増のための対策を検討する。
実施した事業の内容		
・スポーツふれあい事業「香川ファイブアローズとバスケットをしよう」(8月)を計画したが中止。 ・「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」絵画・標語の作品を募集(7月)。 ・善行青少年・健全育成功労者を表彰(10月)。 ・表彰作品を掲載した「令和3年度啓発カレンダー」を作成・配布(11月)。		

A

(3)	少年育成センターの運営	
○少年の健全な育成を図り、非行を防止し、明るい家庭と住みよい地域づくりに努める。		A
実施した事業の内容		
○主に学校からの不審者情報の収集・情報発信により再発防止を図った。		
○補導時の「愛の一声」の声かけを積極的に実施し、パトロールの存在感を増すよう努めたこともあり、不審者通報件数は減少傾向にある。		
●研修会の内容や講演について常に前向きに見直し、状況を見ながら開催できるよう努めた。		
●不審者情報のメール配信。		
●不審者情報に対する再発防止対策の推進		
●早朝駅前補導・薄暮補導活動、小学校周辺パトロール等を継続的に実施。		
●補導員研修会を開催、県研修会や四国内の研修会に参加。		
○学校・家庭や関係機関・団体との連携強化を図り、中核となって街頭補導と継続指導を行う。		A
○三豊警察署、生徒指導主事との連携が迅速に図られた。		
○学校で問題行動が発生した場合、少年育成センターや家庭へ連絡することの抵抗を減らすことができた。		
●各種事件・事故発生に伴う、地域の各防犯ボランティア団体等との連携・情報共有化対策の検討が必要である。		
●関係者と情報共有し、学校や三豊警察署と連携を図り、よりよい対策を実施。		
●通報内容を吟味し、メール配信。		
○少年の生活行動の広域化・深夜化・多様化に伴い、管外の諸機関との連携を更に強化していく。		A
◎小中高生徒指導担当者研修会での地域別協議では活発に意見交換がなされ、連携・協力の面で実り多いものとなった。		
○県内情報や西讃地区における情報・状況認識の共有化が図れた。		
○観音寺少年育成センターとの合同研修会では情報や意見の交換がスムーズに行えている。また、同日実施の特別補導には三豊市補導員会理事の方々も同行して意見交換し、補導活動を共に実施した。		
○市常駐補導員研修会に、観音寺市の2高校が本年度も参加し、三観地区を一体とらえた情報交換が図れた。		
●さらに無駄を排し、より効果的な運営に努めたい。		

○少年が抱える問題や悩みの早期発見・解決を図るために、関係機関・学校・家庭との連携を密にし、来所相談・電話相談・訪問相談の充実を図る。	◎学校訪問やリーフレット配布、「広報みとよ」やメールマガジン、ケーブルテレビ、防災行政無線などの活用により新規相談者の増加(件数)がみられた。	
実施した事業の内容		
・電話・訪問・来所相談を通し、相談者の共感的理解、他の相談機関とも連携し、早期対応。 ・相談しやすい雰囲気づくり。 ・研修会に参加。相談員の資質向上。 ・「広報みとよ」で相談に関する啓発・広報活動を実施。	○教育相談により、保護者や生徒の勇気づけができた。 ○訪問・来所相談も積極的に行うことができた。 ●不登校生徒や悩みを抱える相談者が、自己肯定感を持って、前向きに考えられるような相談活動にしていきたいが、現状の少年育成センターの配置では厳しい状態である。	
○白ポストによる有害図書等の回収処理を行うとともに、少年をとりまく環境やたまり場に関しての情報交換を密にする。		
実施した事業の内容	◎有害図書等を回収し、適正に処理して環境の浄化を図ることができた。	
・「少年を守る会」と連携し、市内7地区17箇所の白ポストの有害図書等の回収を定期的の実施。 ・薄暮補導時の補導員からの情報聴取。 ・街頭補導の一環として、市内の商業店舗との情報交換の実施。	●非行防止に向けて、関係機関や店舗等との連絡を更に密にしたい	

⑨ スポーツ振興の方針

担当課:スポーツ振興課

基本方針	子どもの夢を広げ、実現する《知・体・心を育み、自分らしく暮らせるまち》
------	-------------------------------------

重点課題 1 スポーツの振興

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	スポーツ人口増加の促進		
・スポーツ人口の増加に向けて、スポーツ推進委員会が活動しやすい環境を作る。		・三豊市スポーツ推進委員会が主催となりウォーキングイベントを実施している。今年はコロナ禍の影響によりやむなく中止となった。 ・毎年、様々な種目についての研修を実施しているが、コロナ禍の影響により、実施できなかった ○障がい者とのふれあいにより、障がい者スポーツについての指導方法等を体験することができた。 ●次年度はコロナ禍の中どの様にすれば、実施できるかの、検討する。	B
実施した事業の内容			
・県リハビリテーションセンターの障がい者スポーツ教室の運営補助			
・気軽にできる運動や交流を広げるニュースポーツの普及に向けた教室を支援する。		・運動が好きでない子どもでも気軽に楽しく参加できるニュースポーツの出前教室を実施してきたが、コロナ禍の影響により、今年度は中止となった。 ○市子連主催の子供広場にて、ニュースポーツの体験会をおこなった。新しいスポーツにふれ、また違った楽しさを伝えることができた。 ●次年度はコロナ禍の中どの様にすれば、実施できるかの、検討する。	
実施した事業の内容			
・子ども会の行事にて、ニュースポーツの出前教室を実施			
(2)	体育協会による自主的活動の促進		
・体育協会所属の各団体による自主的活動や、各地区で行われるスポーツ大会や初心者教室等の継続的な開催に向けて支援する。		○市長杯については、コロナ禍の影響により、今年度前半は中止もしくは延期となったが、コロナ対策を講じて、順次開催していった。 ○市体育協会へ補助金を交付している。体育協会の各団体の活動に対し、市体育協会にて補助金を分配し、自主活動を促進している。 ・市体育協会主催で、幼稚園児と小学1・2年生を対象とした「アクティブチャイルドプログラム」を実施予定であったが、コロナ禍の影響により、中止となった。	B
実施した事業の内容			
・市長杯19競技中10競技実施			

重点課題 2 スポーツ施設の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	計画的な施設・設備の整備		
・市全体の公共施設の適正配置との整合性を図りながら、社会体育施設として市民ニーズを踏まえた機能の充足と運営を行う。		○2022年のインターハイに向け、総合体育館の修繕を行うため、実施設計を行なった。 来年度、工事を行なう。 ○所管課や施設管理人、学校等と連携し、施設の適切な維持管理に努め、利用者に不便のかわらないよう努めた。 ●未耐震の施設や老朽化している施設が多く今後の対応を順次検討する。	B
実施した事業の内容			
・施設の適切な維持管理			

重点課題 3 アスリートの育成支援

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	地域クラブチームの育成と支援		
・児童・生徒が希望するスポーツを続けられる環境をつくるため、校区や市域を超えた地域クラブチームの支援や人材育成を行う。		◎サッカー部の無い中学校の生徒に、サッカーをすることができる機会を提供できている。	B
実施した事業の内容		●当初より参加者は増加したものの、まだ少ない状況である。今後は、参加者を増やしていくための取り組みが必要である。	
・カマタマーレ讃岐によるサッカークリニック、アカデミーを実施 ・ファイブアローズによるバスケットボールアカデミーの実施		●サッカー以外の種目についても、実施に向けて検討していく必要がある。	
(2)	地域プロスポーツ団体との交流		
・サッカー・野球・バスケットボールなど地域プロスポーツ団体との連携により、スポーツ教室を開催する。		○カマタマーレ讃岐・香川オリーブガイナース・香川ファイブアローズの試合で三豊市ホームタウンデーを開催することができた。	B
実施した事業の内容		・カマタマーレ讃岐・香川オリーブガイナース・香川ファイブアローズの3チームが、それぞれ、小学生や中学生、スポーツ少年団を対象にスポーツ教室を実施する予定であったが、コロナ禍の影響により、実施出来ていない。	
・四国アイランドリーグによる幼児、小学生向けの野球スクールを開催			

⑩ 学校給食の方針

担当課:学校給食課

基本方針	三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食
------	--------------------------

重点課題 1 三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	安全・安心な給食の提供		
○HACCP(危害分析重要管理点)方式の概念を取り入れ、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」や厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守し、衛生管理に努める。		○仁尾町学校給食センター・松崎小学校給食調理場のトイレを改修し、洋式化、手洗い増設等を行うことで、衛生環境改善が図られた。 ○詫間中学校給食調理場にトイレを備えた休憩室を増築することで、衛生環境改善が図られた。 ○老朽化等による調理機器の更新により、安全性確保及び衛生環境向上が図られた。 ●北部地区の調理場における抜本的な衛生管理の向上にあたっては、北部学校給食センターの整備が必要である。	A
実施した事業の内容			
・仁尾町学校給食センター・松崎小学校給食調理場のトイレ改修。 ・詫間中学校給食調理場休憩室増築。 ・調理機器の更新(松崎小学校調理場の真空冷却機等)。			
○北部学校給食センターの整備内容を検討する。			
実施した事業の内容		○建設用地、整備手法、施設規模及び運営手法等についての検討を行った。 ●整備方針の決定のための協議をすすめていく。	
・北部学校給食センター整備内容の検討。			
(2)	地産地消の推進		
○香川県産及び三豊市産の産物を、積極的に食材に取り入れる。		○毎月、各調理場に対して地場産物の情報提供を行い、献立への採用の促進が図られた。 ○各調理場の献立委員会において地場産物についての情報提供を行い、知識や理解を深めた。 ●地場産物の納入体制の充実を図り、三豊市産の使用率の向上を目指す。	B
実施した事業の内容			
・各調理場へ地場産物の情報を提供。 ・献立委員会での情報提供。			

資 料

1 教育委員会委員及び組織

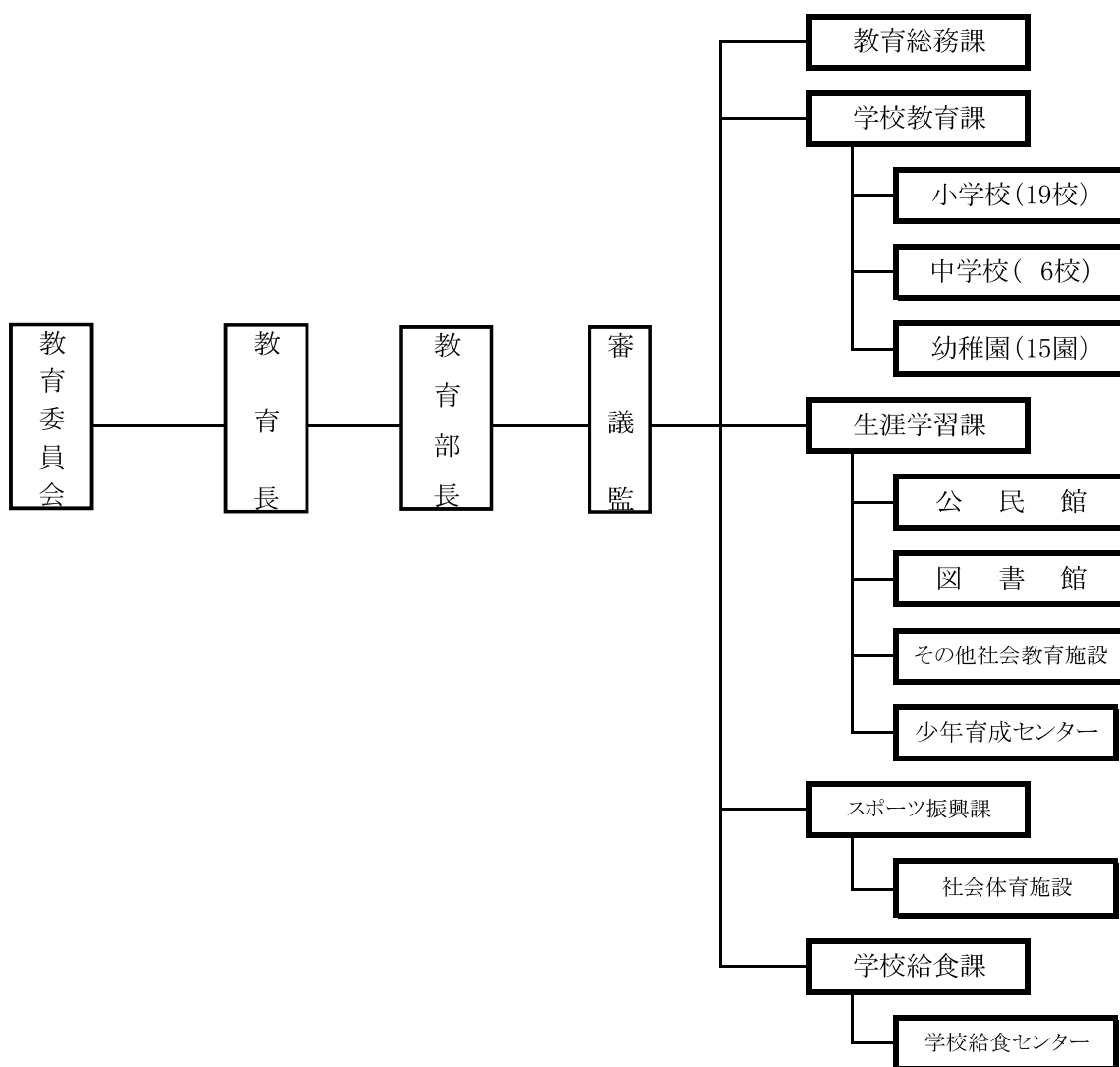
(1) 教育委員会委員

(令和3年3月31日現在)

職 名	氏 名	
教 育 長	三 好 覚	平 成 30 年 8 月 1 日 ～ 令 和 3 年 3 月 31 日
教 育 長 職 務 代 理	細 川 芳 樹	平 成 30 年 8 月 1 日 ～ 令 和 4 年 7 月 31 日
委 員	堤 重 尊	平 成 30 年 3 月 1 日 ～ 令 和 4 年 2 月 28 日
委 員	松 田 真 喜 子	令 和 2 年 2 月 29 日 ～ 令 和 6 年 2 月 28 日
委 員	永 田 洋 子	令 和 3 年 3 月 1 日 ～ 令 和 7 年 2 月 28 日

(2) 教育委員会の組織

(令和3年3月31日現在)



2 公立学校施設の概要

(1) 小学校

令和2年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

学校名	学級数	児童数	本務教員数	本務職員数	建物面積		屋外運動場
					校舎	屋内運動場	
上高瀬小学校	10	219	19	11	3,744	692	15,095
勝間小学校	6	155	15	6	2,877	792	11,359
比地小学校	6	160	12	5	2,812	1,209	23,526
二ノ宮小学校	6	64	11	7	2,847	694	6,413
麻小学校	6	132	11	5	3,299	741	8,204
山本小学校	12	326	24	11	5,181	903	8,502
辻小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
河内小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
大野小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
神田小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
大見小学校	6	146	14	7	3,559	944	11,743
下高瀬小学校	7	194	17	8	5,283	①1,222	10,845
吉津小学校	6	143	12	7	3,528	922	17,357
桑山小学校	6	111	12	7	2,027	836	5,869
比地大小学校	6	116	12	6	1,803	836	5,308
笠田小学校	6	113	12	5	2,222	843	7,956
上高野小学校	6	85	12	4	2,224	836	8,945
本山小学校	6	137	13	4	2,079	729	6,334
松崎小学校	6	114	13	8	3,694	560	3,244
詫間小学校	18	492	36	24	6,710	996	9,889
大浜小学校	平成31年度より廃校(詫間小学校に統合)						
箱浦小学校	平成26年度より廃校(詫間小学校に統合)						
栗島小学校	平成26年度より廃校(詫間小学校に統合)						
仁尾小学校	11	234	21	15	5,964	919	12,565
曾保小学校	4	10	4	4	1,719	587	3,154
財田小学校	7	170	16	7	4,704	943	③ 0
財田上小学校	平成28年度より廃校(財田小学校に統合)						
財田中小学校	平成28年度より廃校(財田小学校に統合)						
計	141	3,121	286	151	66,276	16,204	176,308

① 下高瀬小学校の屋内運動場は、三野町体育センターが兼ねている。

② 財田町総合運動公園を使用している。

(2) 中学校

令和2年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

学校名	学級数	生徒数	本務教員数	本務職員数	建物面積		屋外運動場
					校舎	屋内運動場	
高瀬中学校	11	340	31	5	8,049	1,805	13,676
三野津中学校	8	256	23	6	6,393	1,515	13,396
豊中中学校	9	275	26	5	4,606	③3,389	10,930
詫間中学校	10	264	24	15	6,801	2,156	13,620
栗島中学校	平成26年度より廃校						
仁尾中学校	6	139	19	5	4,339	898	15,781
和光中学校	3	86	14	7	3,932	1,295	10,562
計	47	1,360	137	43	34,120	11,058	77,965

③ 豊中中学校の屋内運動場は、豊中町体育館が兼ねている。

(3) 幼稚園

令和2年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

幼稚園名	学級数	園児数	本務教員数	本務職員数	建物面積	運動場面積
上高瀬幼稚園	3	64	5	－	786	973
勝間幼稚園	3	50	5	－	678	1,605
比地二幼稚園	3	42	8	－	664	778
二ノ宮幼稚園	3	18	4	－	486	1,346
麻幼稚園	3	21	5	－	885	541
山本幼稚園	7	137	19	1	1,982	1,580
辻幼稚園	令和2年度より廃園(山本幼稚園に統合)					
河内幼稚園	令和2年度より廃園(山本幼稚園に統合)					
大野幼稚園	令和2年度より廃園(山本幼稚園に統合)					
神田幼稚園	令和2年度より廃園(山本幼稚園に統合)					
大見幼稚園	3	45	7	－	857	2,751
下高瀬幼稚園	3	44	4	－	754	1,405
吉津幼稚園	3	56	8	－	832	2,094
豊中幼稚園	11	249	20	1	2,941	2,420
松崎幼稚園	3	18	7	－	531	1,891
詫間幼稚園	3	57	7	－	1,181	770
大浜幼稚園	平成31年度より廃園					
箱浦幼稚園	平成26年度より廃園					
栗島幼稚園	平成26年度より廃園					
平石幼稚園	3	65	6	－	1,142	1,800
曾保幼稚園	1	4	3	－	402	472
財田幼稚園	2	48	4	1	825	400
計	54	918	112	3	14,946	20,826

